

第 11 回 図書館総合展 2009 無料フォーラムのご案内

Google ブックサーチ・国会図書館所蔵書デジタル化!!
 デジタルアーカイブ時代に公共図書館はどう変わるべきか?

第 11 回図書館総合展・学術情報オープンサミット 2009

フォーラム概要

〈お問い合わせ先〉 (株) ネットアドバンス 松下豊 : matsushita@netadvance.co.jp

※当日は皆様参加自由としております。満席が予想されますので、お早目のご来場をお待ち申し上げます。

主催	株式会社ネットアドバンス		
会場	第 6 会場	開催日時	2009 年 11 月 10 日 13:00-14:30
演題	Google ブックサーチ・国会図書館所蔵書デジタル化!! デジタルアーカイブ時代に公共図書館はどう変わるべきか?		
講師	・コーディネーター 植村八潮氏 (東京電機大学 出版局局长 博士) ・パネリスト (五十音順) 笹沼崇氏 (ゆうき図書館 副館長) 沢辺均氏 (ポット出版/株式会社スタジオ・ポット 代表取締役 「ず・ぼん」編集委員会) 柳与志夫氏 (国立国会図書館 資料提供部電子資料課 課長 元千代田区図書館館長)		

■ フォーラム概要

以前より学術情報の電子化が進んできましたが、ここにきてケータイ小説ブームや Amazon Kindle など読書端末が普及するなど、「本を読むこと」の環境が急速にデジタル化しています。それにともない、Google はブック検索機能を公開し、国会図書館は 127 億円の予算を立て蔵書デジタル化の検討を行うなど、各企業・機関はデジタル読書環境に適応すべく動き始めています。しかし、公共図書館の手によるデジタル対応について目立ったトピックスは出ておりません。

ブロードバンド環境が普及し誰もが手軽にインターネットを利用できる時代です。便利な検索機能で知りたい情報がすぐに手に入れられるようなこの時代、公共図書館はこのままでいいのでしょうか。デジタルとうまく共存していくためにも、来館者が利用したくなる場を提供するためにも、公共図書館の役割を改めて考え、真に必要とされる公共図書館のサービスについてディスカッションを行います。